



オーソモレキュラーは栄養素を使用して治療する分子整合医療です。JSOM の本部である International Society for Orthomolecular Medicine (ISOM) はカナダ・トロントにあり、日本オーソモレキュラー医学会は栄養療法の先駆者であるライナス・ポーリン、エブラム・ホッフアー医師等の意思を継いで日本・アジアで活動しています。

ギリシアの CTC 検査ラボ RGCC 社代表 Dr. Papasotiriou 並びに米国の RGCC 支社代表兼統合クリニック院長 Dr. Ray Hammon 来日セミナーのご案内

各位

この度、ギリシア RGCC ラボ代表の Dr. イオアニス・パパスティリオ先生と米国 RGCC 支社代表兼ガラスの ATMC クリニック院長の Dr. レイ・ハモン先生が下記日程にて来日されます。

8月1日は大学病院にて講演されますが、8月2日と3日に下記の日程にてセミナーを行いますのでご参加頂ければ幸いと存じます。

国際個別化医療学会理事長

阿部 博幸

癌先進補完医療研究会理事長・日本オーソモレキュラー医学会理事長

水上 治

セミナー詳細

2014年08月2日(土) 14:30~18:00

演者: Dr. イオアニス・パパスティリオ先生

Dr. レイ・ハモン先生

演題: RGCC にて行われる CTC (循環腫瘍細胞), CSC (循環幹細胞) 検査内容、その他の検査のご紹介

参加費: 一名様 15,000 円 (*8月1日の聖マリアンナ医科大学大学院セミナー出席者は 5,000 円)

2014年08月3日(日) 09:30~12:00、13:00~16:30

演者: Dr. イオアニス・パパスティリオ先生

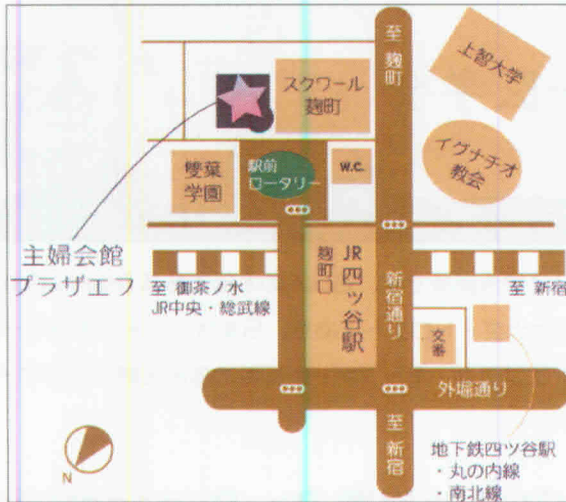
Dr. レイ・ハモン先生

演題:

- CTC, CSC 検査結果への天然成分の導入 (アメリカにて行われる手法)
 - 抗がん剤との併用
 - マイクロアレイにて発現している CTC, CSC 遺伝子へのエピジェネティック治療→アンチセンス治療のご紹介
 - 治療の作用、効果
 - 日本への製剤の輸入および国内臨床における投与・使用方法および注意点
- 検査結果によりますが特に細胞周期、伝達経路にて発現している遺伝子を対象としてまずは転移、浸潤を抑制する点が強調されているようです。

● その他

尚、アンチセンス治療に関する資料および RGCC ラボからのレターと和訳も添付配信申し上げます。



場所：主婦会館プラザエフ（東京都千代田区六番町 15 番地）

08月2日（土）：4階シャトレ

08月3日（日）：8階スイセン

最寄駅：JR四ツ谷駅 麹町口（徒歩1分）

東京メトロ 南北線／丸ノ内線 四ツ谷駅（麹町口徒歩3分）

参加費：一名様 15,000円（*8月1日の聖マリアンナ医科大学大学院セミナー出席者は5,000円）

申込み：日本オーソモレキュラー医学会事務局まで、クリニック名、参加者名、人数をご連絡下さい。
参加費は事前振込、または当日会場をお願い致します。

E-mail: info@orthomedjapan.org

Fax: 03-3222-5770

Tel: 03-5876-4511

CTC 検査の日本語 HP <http://www.kansaibokensa.jp/index.html>

日本オーソモレキュラー医学会事務局

Copyright 2010 Japanese Society for Orthomolecular Medicine. All rights reserved.